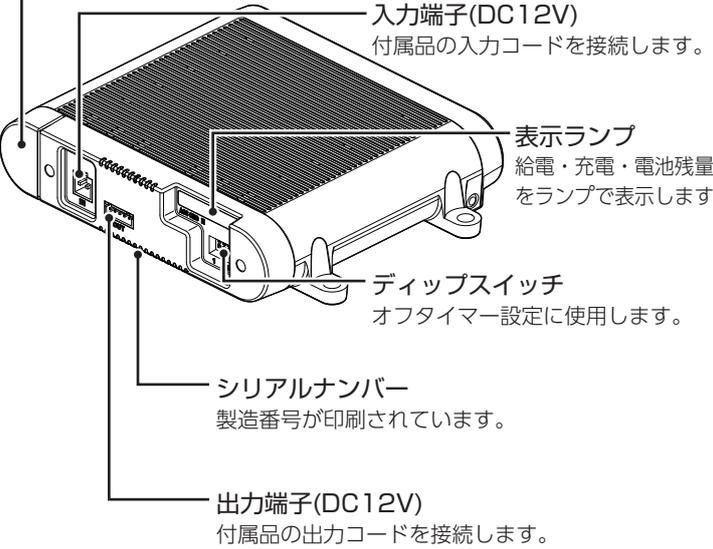
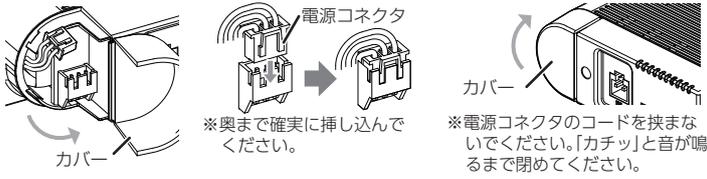


各部と名称の動き

工場出荷時は電源コネクタをはずしています。ご使用前に必ず接続してください。

- ①カバーを開ける
- ②電源コネクタを接続する
- ③カバーを閉じる

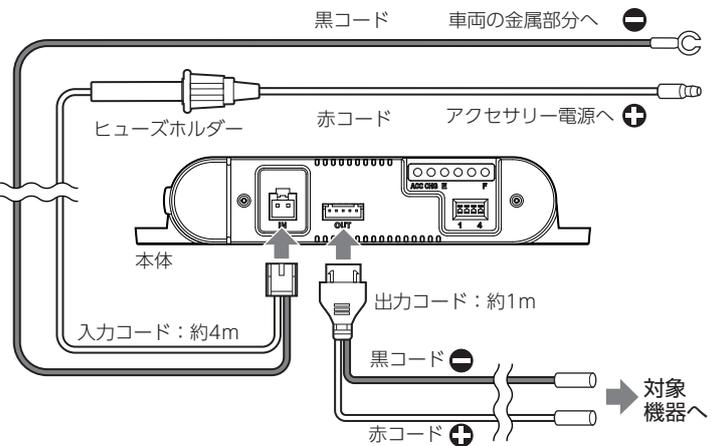


接続のしかた

作業中のショート事故防止のため、車両へ接続するときは、車両のバッテリーのマイナス端子を必ずはずしてから作業してください。

次のような場所への本体の固定や配線処理は避けてください。

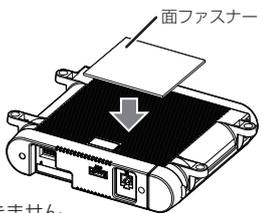
- ・運転やエアバック作動時の妨げとなるような場所。
- ・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・直射日光の当たる場所。
- ・不安定な場所、配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・車両の電装機器（アンテナ等含む）などの近く。
- ・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。



⚠ 誤った取り付け、取り扱いによる車両や車載機器などの事故や故障、損害などが発生しても弊社は一切の責任を負いません。

■ 面ファスナーの貼り付け

本体に付属品の面ファスナーを貼り付け、運転や視界の妨げにならない場所（車両の床内張りなど）、また、自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所のカーペット部に貼り付け、市販品の結束バンドや両面テープなどで必ず本体を固定してください。



※付属品の面ファスナーだけでは本体は固定できません。

保証書（持込修理）

本書は、本書記載内容（右記載）で、無料修理を行うことをお約束するものです。

保証期間中、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

<無料修理規定>

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意事項に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
 2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、製品と本書をご持参ご提示のうえお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
 3. ご郵送の場合品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理が依頼できない場合には、お客様相談センターへご相談ください。
 4. 保証期間中でも次の場合は有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障および損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地災、公害、雷害、指定外の使用電源（電圧、周波数）や異常電圧による故障および損傷
 - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障および損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - (二) 本体内蔵の電池などの付属品および消耗品の消耗による交換
 5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
- ※本書を紛失しないよう大切に保管してください。
- ※この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理について不明な場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談センターにお問い合わせください。

品番	OP-MB4000	シリアルNo.	
お買い上げ年月日	お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理対象外となります。		
保証期間	対象部分 機器本体（消耗部品は除く） お買い上げの日から1年		
お客様	お名前		
	お住所		
	TEL () () () () () ()		
	販売店	店名(住所)	
故障内容記入欄			

※修理品の取り付け・取り外しにかかる費用は補償いたしかねます。

- 入力コードの赤コード⊕は、必ず車両の始動 / 停止 (ACC ON/OFF) に連動する電源に接続してください。
- 付属品の面ファスナー、市販品の結束バンドなどを使い、本体を固定、配線処理をしてください。
- 取り付け・配線後は、車両の電装品が正常に動作することを確認してください。車両の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウィンカー、ハザードなど）が正常に作動しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。

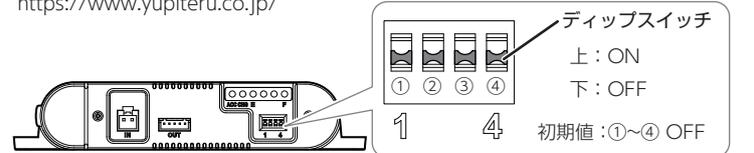
設定のしかた

車両停止 (ACC OFF) 後、本体内蔵電池から電源供給する時間を、ディップスイッチで設定（オフタイマー設定）します。お買い上げ時（工場出荷時）のままでは、使用できません。④を「ON」にしてから①～③を ON/OFF し設定してください。

※ディップスイッチの ON/OFF は、先の細いつまようじなどで行ってください。

※接続機器と通信する場合は、④を「OFF」にしてください。接続機器からオフタイマー設定することができます。対象機器については、弊社ホームページにてご確認ください。

<https://www.yupiteru.co.jp/>

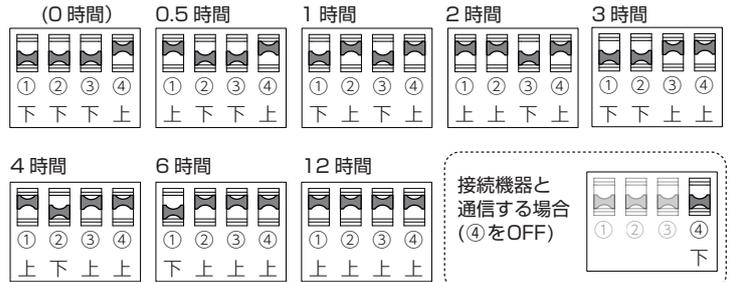


■ オフタイマー設定

車両停止 (ACC OFF) で設定を変更し、車両始動 (ACC ON) で設定を反映します。

※オフタイマー設定に関係なく、使用状況（使用機種 / 接続状態 / 充電状態 / 設置環境等）により電源供給できる時間は変化します。また、本体内蔵電池が少なくなった場合には本体内蔵電池からの電源供給を停止します。

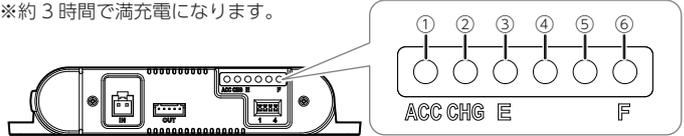
使用しない場合



表示ランプについて

給電・充電・電池残量がランプで確認できます。

※約3時間で満充電になります。

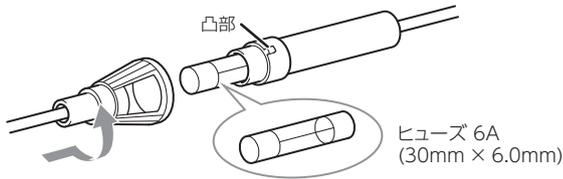


No	表示名	表示の意味
①	ACC 電源供給ランプ (赤)	本体に電源が供給されている時に点灯します。
②	電源チャージランプ (橙)	充電中に点灯、動作温度範囲外で充電を停止し低速点滅します。 ※高速点滅した場合は電池異常のためすぐに使用を中止してください。
③	電池残量 1 (赤)	残量 0~20(%)です。(※1)
④	電池残量 2 (橙)	残量 21~50(%)です。③④が点灯します。(※1)
⑤	電池残量 3 (橙)	残量 51~80(%)です。③④⑤が点灯します。(※1)
⑥	電池残量 4 (緑)	残量 81~100(%)です。③④⑤⑥が点灯します。(※1)

※1：車両停止 (ACC OFF) 後、5 秒間点灯します。

ヒューズの交換

接続機器が電源 ON しないときは、接続コード類がはずれていないか確認のうえ、ヒューズホルダーの中のヒューズが切れていないか確認してください。



● 上図のようにヒューズホルダー先端を、押しながら矢印の方向に回してください。元に戻すときは、ヒューズホルダー先端の溝と本体凸部を合わせて押しながら図の矢印と逆方向に回してください。

- ※ ヒューズ交換時は、車両のバッテリーのマイナス端子をはずしてから行ってください。
- ※ ヒューズホルダー内にばねが入っています。紛失にご注意ください。

安全上のご注意

- 異常（内部に異物が入った、水に浸かった、煙が出ている、変な臭いがする）、故障、破損時はすぐに使用を中止してください。
- 本機を次のような場所に保管しないでください。変色や変形、故障の原因となります。
 - ・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
 - ・水のかかる場所や湿気、やほこり、油煙の多い場所
 - ・車室内でも炎天下などで高温になる可能性がある場所
- サービスマン以外の人、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。
- 穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。
- 結露したまま使い続けしないでください。故障や発熱などの原因となります。（気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。）
- 各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。
- 濡れた手で操作しないでください。
- 海外ではご使用にならないでください。本機は日本国内仕様です。
- 本機を火の中、電子レンジ、オープンや高压容器に入れたり、加熱したりしないでください。
- 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付けてください。
- エアバックの近くに取付けたり、配線をしないでください。万一のとき動作したエアバックで本機が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバックが正常に作動しないことがあります。
- 取り付けは確実に行ってください。本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。
- 取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼してください。取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要で、誤った取り付けや配線をするると車両に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
- 突起部分などにご注意ください。取り付けや取り外しの際、突起部分などでケガをする恐れがあります。
- 電源コードは確実に挿し込んでください。接触不良を起こして火災の原因となります。
- お手入れの際は、電源コードを抜いてください。感電の原因となります。
- 指定以外のヒューズは使用しないでください。指定以外のヒューズを使用すると異常加熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一のものとの交換してください。
- 本機は DC12V マイナスアース車以外で使用しないでください。
- コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。
- 運転中は走行中に操作をしないでください。運転中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。
- 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いたやわらかい布で行ってください。
- ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。
- ニッケル水素電池を分解したり、改造しないでください。ニッケル水素電池が液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
- 火のそばや炎天下などでの充電や放電はしないでください。ニッケル水素電池内部で異常な化学反応が起こり、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
- ニッケル水素電池を火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所（60℃以上）で使用したり、放置しないでください。熱により樹脂セパレータが損傷した場合、ニッケル水素電池が内部ショートし液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。

仕様

入力電圧	DC12V(最大 6A)
出力電圧	12V(1A)
オフタイマー設定時間	0.5 時間 / 1 時間 / 2 時間 / 3 時間 / 4 時間 / 6 時間 / 12 時間
内蔵電池	ニッケル水素電池 12V / 4,000mAh
動作温度範囲	0℃ ~ +45℃
外形寸法	144(幅) × 33(高さ) × 131(奥行) mm (突起物除く)
本体重量	約 950 g (内蔵電池含む)

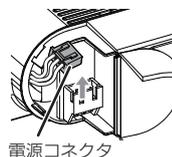
- ニッケル水素電池を水や海水などに浸けたり、濡らさないでください。ニッケル水素電池内部で異常な化学反応が起こり、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- ニッケル水素電池が液漏れし、液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因なる恐れがあります。
- ニッケル水素電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。放置すると液により目に障害を与える原因となります。
- 充電の際に所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合には、充電をやめてください。ニッケル水素電池を液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火させる原因になる恐れがあります。
- ニッケル水素電池が液漏れしたり、異臭がするときには、直ちに火気より遠ざけてください。液漏れした電解液に引火し、発熱、破裂、発火の原因となります。
- ニッケル水素電池の充電温度範囲は、次のとおりです。充電：0℃ ~ +45℃
上記の温度範囲以外の場合、ニッケル水素電池が急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。また、ニッケル水素電池の性能や寿命を低下させることがあります。
- お買い上げ後、初めて使用の際に、さびや異臭、発熱、その他異常と思われるときは、使用しないでお買い上げの販売店にご持参ください。
- ニッケル水素電池は、乳幼児の手の届かないところに保管してください。
- 濡れたニッケル水素電池は使用しないでください。故障、感電、発熱、発火の原因となります。
- 濡れた手でニッケル水素電池をさわらないでください。感電の原因となることがあります。
- 通電中のニッケル水素電池に長時間触れないでください。温度が相当上がる場合があります。長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

使用上のご注意

- 本製品は、対象機器のみでご使用になれます。対象機器については、弊社ホームページにてご確認ください。
<https://www.yupiteru.co.jp/>
※対象機器以外のご使用については、その動作を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。
- 本製品は防水構造ではありません。必ず車室内へ取り付けてください。
- 本体の上に重いものを置いたり、踏みつけたりしないでください。
- バッテリー上がりに関して弊社は一切の責任を負いません。
- 本体内蔵のニッケル水素電池には寿命があります。充電しても使用時間が短くなった場合は、お買い上げの販売店に内蔵電池（充電式ニッケル水素電池）の交換をご依頼ください。
- 不要になったニッケル水素電池は金属部分にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って、お住まいの自治体の規則に従って正しくリサイクルしていただくか、最寄りのリサイクル協力店につきましては、一般社団法人 JBRC のホームページ (<https://www.jbrc.com/>) を参照ください。
- コネクタなどは奥まで確実に挿し込んでください。

必ず行ってください

本機を 3 ヶ月以上使用しない場合は、電源コネクタをはずしてください。そのまま放置した場合、内蔵電池が完全放電し使用できない状態になることがあります。
※電源コネクタをはずした場合でも接続する機器への電源供給は行えます。



電源コネクタ